

# 伊那市 社会教育委員 だより

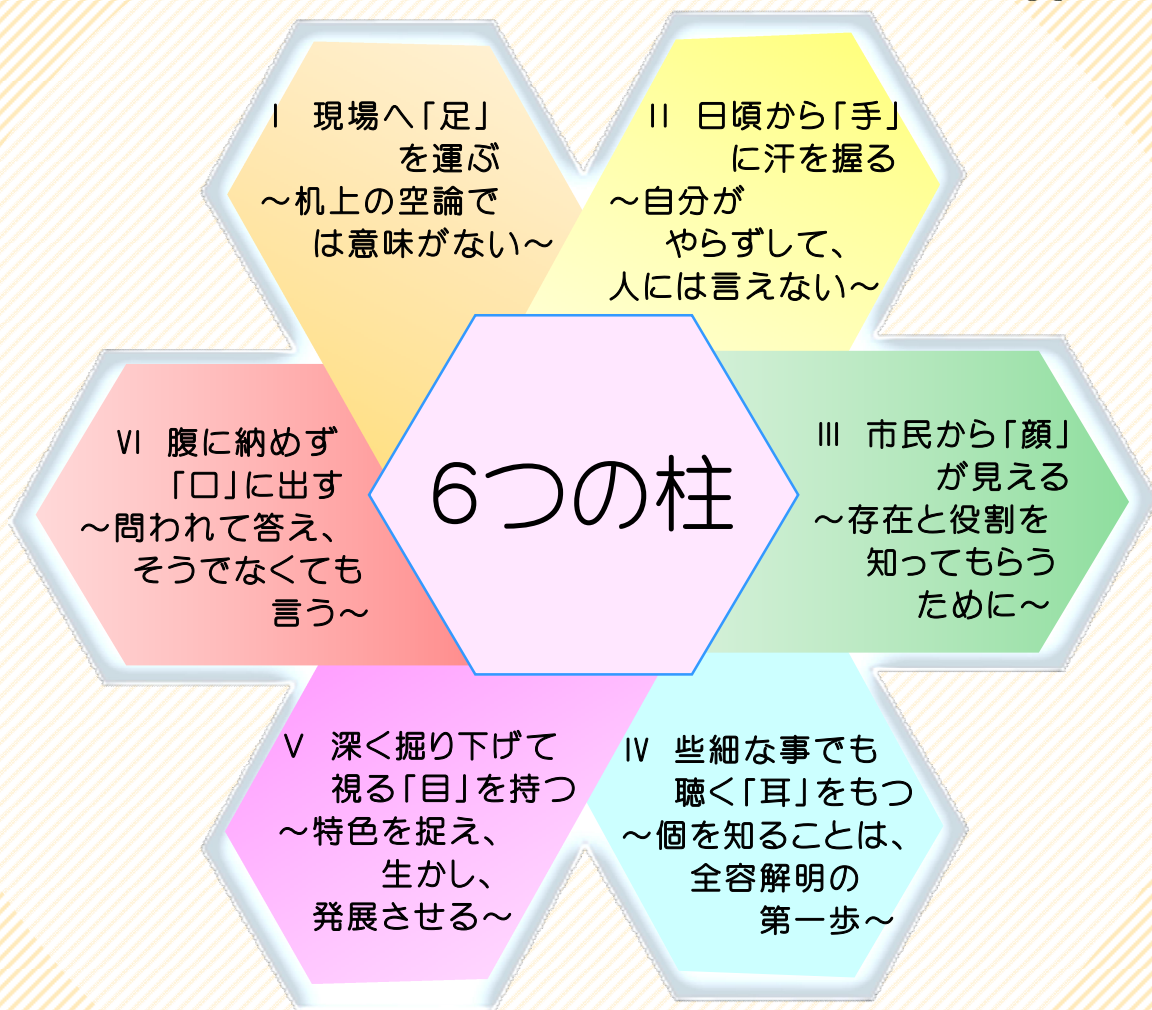


伊那市生涯学習基本理念

— 歴史と文化を未来へつなぎ、誰もが心を豊かに育んでいく —

## 社会教育委員 実践活動の取組

伊那市社会教育委員は、「社会教育委員による実践活動の取組」の6つの柱に沿って、活動を進めています。



# 令和7年度の活動

## 令和7年

- 4月17日 第1回社会教育委員会議（定例会）を開催しました。《伊那市役所》  
6月19日 長野県社会教育委員連絡協議会総会に参加しました。《リモート》  
7月 1日 諏訪・上伊那地区社会教育委員連絡協議会合同研修会に参加しました。  
《飯島町文化館》  
8月28日 地域連携・協働フォーラムに参加しました。《伊那市生涯学習センター》  
8月29日 第2回社会教育委員会議（臨時会）を開催しました。《伊那市役所》  
9月 8日 長野県社会教育研究大会に参加しました。《長野県総合教育センター》  
11月14日 上伊那社会教育関係者懇談会に参加しました。《伊那公民館》  
11月26日 第3回社会教育委員会議（臨時会）を開催しました。《伊那市役所》  
伊那市教育委員との懇談会を開催しました。

## 令和8年

- 1月15日 上伊那地区社会教育委員研修会に参加しました。《駒ヶ根市中沢公民館》  
3月24日 第4回社会教育委員会議（定例会）を開催しました。《伊那市役所》  
(会議に併せ、社会教育委員発！我がまちいいところ10選研修視察)

第1回社会教育委員会議(定例会)を、令和7年4月17日(木)に伊那市役所で開催しました。

本年度事業の取組方針について協議し、令和7年度の活動が始まりました。  
社会教育委員の10名です。(任期:令和6年4月~令和8年3月まで)



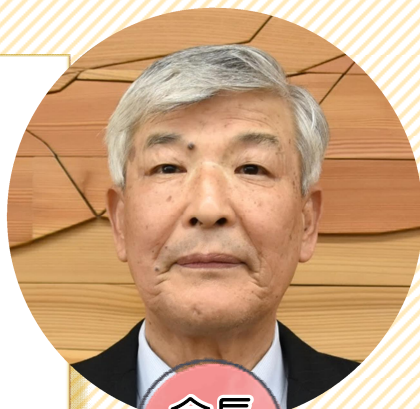
酒井 照明	会長(伊那地区)	黒河内 あけみ	副会長(美篁地区)
小松 由和	委員(富県地区)	宮原 晴美	委員(手良地区)
中谷 洋子	委員(東春近地区)	有賀 恵子	委員(西箕輪地区)
三澤 隆	委員(西春近地区)	田中 秀之	委員(高遠町地区)
山岸 加代子	委員(高遠町地区)	中山 勝司	委員(長谷地区)

## 社会教育委員からひとこと

社会教育委員として3期目の2年が終わろうとしています。常々思っていることですが、「もし委員になっていなかったら、どんな生活をしていただろうか?」。おそらく、人権同和教育講座講演会で、蓮池薫さんの拉致問題の生々しい話を聴けなかっただろう。また、戦後80年の各種イベントや中尾歌舞伎、池上秀嗣展等にも参加していなかっただろう。そして、各委員が推奨する「我がまちのいいと10選」の現地視察から、伊那のよさ(歴史や文化等)を感得できなかつたと思います。

そう考えると、社会教育委員の活動を通して「学んだこと」「感動したこと」は、まさに我が人生の宝であります。こんな宝をより多くの方々に共有してもらうよう努めていきたいと思っています。

終わりに、市当局をはじめ委員、関係の皆様のご支援ご尽力に対して御礼申し上げます。



会長  
酒井 照明  
(伊那地区)



副会長  
黒河内あけみ  
(美簗地区)

この2年間、社会教育委員として活動していったこととして心に残っていることは、特に2つの活動があります。

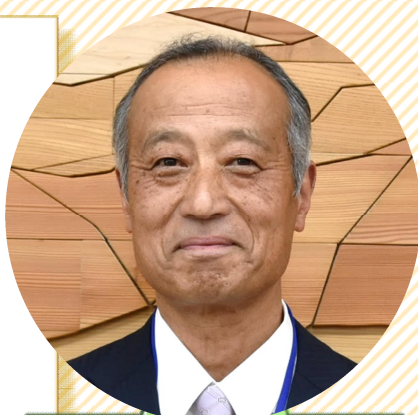
公民館の「おいで塾」。これは夏休みの3日間、地域の子どもたちと接する楽しい機会でした。午前中は勉強のお手伝い、午後は工作やニュースポーツの体験など、いつもでは味わうことのできない体験ができました。子どもたちも学校での姿とは違う、本当の自分が出て、楽しそうでした。

「宇宙の学校」では、親子の関わりに接することができました。熱気球作りは、グループ毎に大きな気球を作り、ドライバーの熱で天上まで揚げました。自分たちが作った気球が上がっていく様子に目を輝かせて感動する姿、穴があくとサッと自分たちの力で直す姿、本当に自分たちでやっている姿をたくさん見る事ができました。

普段経験できない多くのことを味わうことができました。ありがとうございました。

社会教育委員は初めての経験でしたので、戸惑う事も多く、教育委員会の職員の皆さんや、先輩の委員の皆さんに教えていただきながらの2年間でした。この2年の間、様々な研修会・講演会等に参加させていただきました。特に、分散会等では多くの皆さん方と意見を交わし、私自身多くの事を勉強させていただきました。また、社会教育委員の出身地域のいい所を紹介する「いいとこ10選」では、各地域の名所旧跡を巡り、改めて伊那市のいい所を再発見する事ができました。

社会教育は、子どもから老人まで幅が広く、地域との連携や人との繋がりが大切だと思います。最近では、公民館活動の参加者が減少傾向にあります。SNSの技術が進み、学習しようと思えば、誰もが、何処でも、何時でも知りたい情報を得る事ができる時代になりました。これからの社会教育のあり方も少しずつ変わってくるのかもしれませんが。

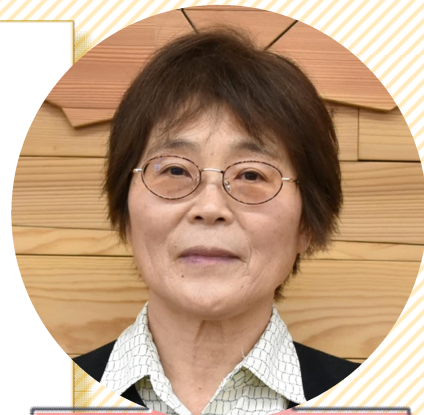


小松 由和  
(富県地区)

委員会の折に高遠の委員さんから、夏休みに進徳館で子どもたちが論語を語っているという話を聞きました。「わけも分からず声を出していたことが九十歳位になって、そういうことだったのかと納得することもあると聞いた」ともつけ加えられました。何というスケール、何というロマンのある生涯学習でしょうか。

今、アクティブに活動することが推奨され、高校にも総合的な探究が導入されました。高校生の活躍は、それはそれですばらしいのですが、社会に役立つ即戦力を育てているようにも見えてどこか侘しい気がします。

文科省には申し分けないですが、「生きる力」になどならなくともよいと思います。役に立つか立たないかわからないもの、目にはさやかに見えないようなもの、そういうものにも心を寄せていったら、生きづらさを感じる人たちも少しは減るのではないかと考えています。



宮原 晴美  
(手良地区)



中谷 洋子  
(東春近地区)

2年間の社会教育委員の活動を終え感じたのは、いろいろな事を学ばせていただいたという事です。学校教育、公民館活動、生涯学習、人権問題など様々な幅広い問題提起を考えたり、学んだり、体験したり、意見交換したりする事ができました。

2年目の活動で特に印象に残った内容が3つあります。1つ目は地域連携・協働フォーラムでの「探究」の分科会でした。AIが台頭する時代で私たちに必要な「生きる力」とは何かをテーマとする講演とワークショップでした。2つ目は人権同和教育講座での蓮池薫さんの講演です。拉致の目的、北朝鮮が拉致を認め帰国した理由、北朝鮮の嘘という大きな3つの内容で理路整然と話してくださいました。3つ目は駒ヶ根市の登戸研究所平和資料館の見学です。今更ながら戦争の恐ろしさと平和の大切さを痛感する事ができました。

社会教育委員の皆さんがそれぞれの地域を紹介する「わがまちのいいところ10選」は、地域の歴史や特色がわかり大変興味深いものでした。今回は「西春近公民館」と「西箕輪公民館」、「西天竜発電所」と「春富水力発電所」と同じ目的を持つ施設を見学できたことが印象に残りました。

公民館では集える場所としてその地区ならではの想いや工夫が伝わり、発電所は昔の人たちが苦勞して引いた水が田畑を潤す次に発電という形で地域に還元するという人間の知恵のすごさに驚くばかりでした。

それぞれの地域で大切にされてきたことが次の世代に引き継がれていくことの大切さを強く感じました。

二年間大変お世話になりました。



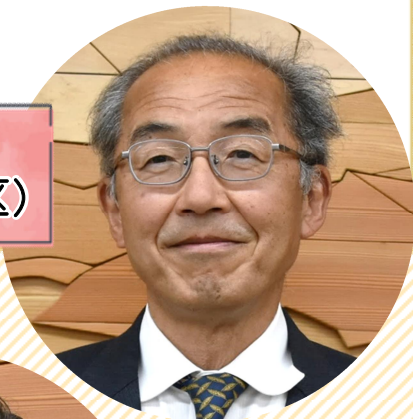
有賀 恵子  
(西箕輪地区)

社会教育委員を受けて2年経ちます。県・郡主催研修会の講演会等で他地区関係者との意見交換会することで、少しばかりではありますが研鑽を積むことができたような気がします。

「わがまちいいとこ10選」では、各地区の見どころを視察し、歴史や伝統文化のみならず多方面の見聞を広げることもでき良かったと思います。また、公民館行事に関しては、夏休みの「おいで塾」で学習支援の協力をさせていただき、子どもたちと接する機会を持てたことも良い経験となりました。

公民館や学校など地域との連携を密にし、各種行事へのアンテナを高くして活動したいと考えております。

三澤 隆  
(西春近地区)



山岸 加代子  
(高遠町地区)



田中 秀之  
(高遠町地区)

伊那市高遠地区選出の社会教育委員としての二年間の主な活動実績は、次の通りです。

高遠北小を守る会にて、校内草刈り、子どもたちと魚取り、親子バーベキュー、交通安全&防災教室開催、朝の挨拶運動、地域を知る会講師、放課後教室にて学習指導。

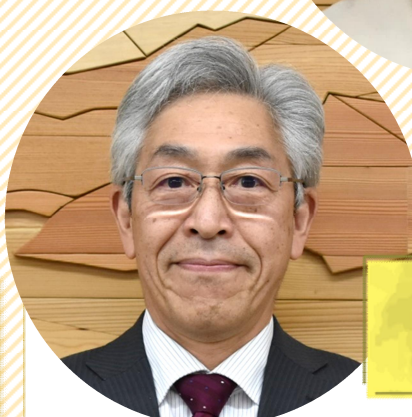
高遠中学では高中応援隊の一員として、全校生徒に教育基本法の前文に掲げられた教育の目的を説明、放課後教室にて受験指導。

その他、成人式には恩師として励ましの祝辞、進徳館夏の学校手伝い、高遠町歴史博物館主催の親子教室では、仁科五郎の扮装をして会場を歩き回り、人気のおじさんでした。

以上微力ながら社会教育委員の責務として、高遠地区の民度向上に努めて参りました。

各種イベントや、公民館講座等参加させて頂いた中でも感慨深かったのは、公民館主催で地域の小学1年生～6年生を対象に夏休みの4日間行われる「進徳館夏の学校」でした。高遠藩の藩校であり藩士の教育機関として多くの人材を輩出した進徳館で当時の建物を利用します。論語の素読の時間は、まず姿勢を正し正座して、館長に続いて一斉に声を揃えて音読します。静寂の中に響く声は、昔にタイムスリップしたようでした。中学生や高校生もボランティアで参加して、少子化の中、一堂に異年齢が集まる機会も少なく、良い体験ができる「進徳館夏の学校」だと思いました。これらの伝統と文化が未来に繋がって行く事を願います。

任期を終えるにあたりお世話になりました関係各位の皆様には心から感謝申し上げます。



中山 勝司  
(長谷地区)

「社会教育委員は地域活動の現場を見て課題を発見し、教育委員会に積極的に意見を述べる『行動する委員』としての役割が期待されている。」とのこと。2年間を振り返ると、その役目は果たせませんでした。

公民館主催イベントで西箕輪視察の時、木曾側から権兵衛峠を越え伊那側に水を引いた「木曾山用水」の事を知りました。伝兵衛、艶三郎、木曾山用水等々を始め、伊那谷の開拓の歴史、先人の苦勞の歴史をもっと知りたいと思います。また西箕輪図書館に木曾山用水の子ども向け読本がありますが、積極的に小さい頃から地域の歴史に触れさせ、関心を持たせるという教育も大事ではないかと思えます。

## 足を運ぶ活動 イベント等参加報告

4/25

### 「貝沼の自然環境を守る会」 と富県小6年生との交流 (富県貝沼の畑)

「貝沼の自然環境を守る会」と富県小学校との交流は毎年行われています。この活動は学校教育と連携して農業体験・食育等を目的に、更には自然環境を守りながら魅力ある地域づくりを目的に行われています。

今年は、6年生がスイートコーンの栽培に挑戦し、種蒔き・収穫・販売までを行う予定です。小学生19人、先生2人、守る会会員9名が参加し、5アールの畑に約2,000粒の種を蒔きました。初めての種蒔きで大人から教えて貰いながら行い、効率よく行っていました。

これからの世話は、病気や鳥獣害等の心配も有りますが、守る会会員やPTA・子供達と一緒にやっていきます。

農業体験を通じて、農業と地域の魅力を感じてくれればと思います。

8/2

### 若手アーティスト展 「ふうけいのまにまに」 (信州高遠美術館)

久しぶりに参加したオープニング式典は、今回はバイオリン奏者の宮澤りんさんの演奏でした。ホールに響く美しい演奏に心から癒されました。毎回思うのですが若手の演奏者の活躍の場として素晴らしい企画だと思います。

展示されている作品については作者の方から説明していただきわかりやすかったです。私のような美術についてあまり分からない見学者にとってはありがたかったです。作品の中で特に流木を使った立像は心に響くものがありました。

これからも展示に合わせた、地元出身の演奏家のオープニング式典での演奏は続いてほしいと思います。せっかくの若手演奏家の発表はもっと一般の人にも知らせて活躍の場にしてほしいです。

生涯学習関係イベントや地域の行事等に参加して、感想や良かった点、課題などを報告書にまとめ、社会教育委員会議で情報を共有しています。また、各担当部署でも、出された意見を事業に生かしています。その参加報告の中からいくつかをご紹介します。

7/25

### 西春近公民館おいで塾 (西春近公民館)

夏休みのおいで塾は、年々希望者が増え、今年の参加者は99名となりました。私は、午前中の学習支援のスタッフの一人として参加して宿題帳など勉強の見守りを担当しました。いくつかが質問を受け、答えはわかるもののどう説明すればいいのか戸惑うこともあり冷や汗をかく場面もありましたが楽しい3日間でした。

また、午後は各種行事の体験学習等盛りだくさんのカリキュラムで実施されました。特に、2日目に行った流しソーメンは大変喜ばれ、夏の定番イベントを満喫することができました。上流の上級生は、下流にいる下級生にソーメンがいきわたるように「食べ方ストップタイム」を設けるなど、思いやりの心も育まれた一面も見ることができました。おいで塾を通して地域との交流機会にもなり大変良い活動だと思います。

9/13

### 秋季企画展 「記録された戦争の時代」 (高遠町歴史博物館)

今年は終戦から80年目という節目の年です。歴史博物館では戦争関係の記録や、満蒙開拓団に関する史料など博物館に情報が寄せられ、様々な形で残された戦争についての記録を通して戦争の時代を振り返らせられました。

展示されている史料について学芸員さんが説明していただき、展示物の意味や家族の思いなど知ることができました。戦地で戦いながらも「軍事手帳」を記録し、それを見ることで兵士たちの動きを具体的に知ることができ、地図上で動きが確認できました。大変な状況の中での記録ですが、丁寧かつきれいな文字が書いてあり“凄い”の一言です。

現在は戦争体験談を話せる方も少なく、テレビ放映からの知識となる中で、実物の史料を見ながらのお話は勉強になりました。

9/28

## 第19回森の音楽祭in春近郷 (殿島城址公園)

この日は天候に恵まれて、殿島城址公園に設置された屋外のステージにて9団体が演奏やパフォーマンスを披露しました。伊那節保存会の踊りから始まり、金管楽器やフルートのアンサンブル、女声合唱、詩吟、太鼓の演奏、今年新たにスタートした春富中・辰野中のマーチングバンドのパフォーマンス等が披露されました。私自身も女声合唱団はるちかコーロ・フェリーチェの一員として演奏に参加しました。

様々の団体の様々な活動内容が発表され、子供からお年寄りまで楽しめて良かったと思います。準備にあたられた地区の役員の方々に感謝いたします。

昨年より参加団体が減ったのは残念だったので、参加団体の確保や聴きにきてくれる観客へのPRも課題かと思いました。

11/29

## 高遠町桜大学第4講座 「論語を通じて学ぶ喜びを知る」 (高遠町総合福祉センターやますそ)

漢学者・論語講師の安岡定子さんが講師でした。進徳館のように藩校の建物が残っているのは珍しいとのこと、残っているところでは学校の夏休みに子どもたちが論語の素読に取り組んでいることが多いとのことでした。江戸時代はおおらかで寺子屋は誰でも開くことができ、人材育成を目指す藩校も始められたようです。

参加者全員で素読をし、意味を教わりました。意味が深く、もっと早く知っていたかったと思いました。論語は生き方を教えており、年月を経ると受け取るものも違ってくるとのこと、繰り返し読みたいと思いました。

10/30

## 市民公開講座 「足に良い靴どんな靴？」 (伊那中央病院 講堂)

足は体の基礎であり、健康長寿の基盤です。危ない足のサインに早く気づき、できた傷を治すより傷ができないように予防することが大切で、そのために足に合った靴で正しく履くことが重要とのことでした。また、靴はひも付きの運動靴が良く、足の指を動かしたり広げたりし、顔と同様スキンケアを行うようアドバイスがありました。

実際に履いている運動靴で「正しい靴の履き方」を実践する時間もあり、普段気を付けて履いているつもりだったが、正しく履けていなかったと反省しました。

平日午後の開催だったので、参加者は足が気になる中高年が多かったですが、若い世代にも聞いてほしい内容でした。

1/17

## 人権同和教育講座講演会 「夢と絆」 (ニシザワいなっせホール)

期待していた通り、講師で拉致被害者の蓮池薫さんの話は「拉致」を『問題』と『事件』の両面から捉え、その人しか分からない生々しい実体験を語られ、まさに、凄まじい過酷なドラマを観ているような90分でした。

北朝鮮の目的、当時の日本及び国際社会の情勢、なぜ5人が帰国できたか、拘束された北朝鮮での生活や新潟の海岸で拉致された時の模様等々、新聞やテレビで報道された以上の深い部分まで感得することができました。

北朝鮮は「解決済み」としているが、まだ北朝鮮に日本へ戻れないでいる方々がいる限り、今日の講演から感じたことを一人でも多くの人に語っていくことが、この問題を風化させないこと、人権同和教育の本質に繋がっていくように思われました。

## 我がまちのいいところ10選研修視察

4/18

### 桜並木 (美篤地区)

三峰川堤防桜並木は、美篤小学校の児童とPTA・地区の人々が協力して、「かつての三峰川堤防の桜並木を復活させよう」と試みたもので、平成6年に4年生の子どもたちの願いから生まれ、平成9年3月、初めて3本の桜が植えられ、その後毎年児童会を中心に植え続け、平成14年には56本になり、現在に至っています。小学校では今でも手入れ活動を続けていて、毎年きれいな桜が咲き続けています。

深く掘り下げて見る「目」を持つ活動、また、現場へ「足」を運ぶ活動として、各委員が地元の自然、歴史、文化などを推薦し、現地への視察研修を行っています。推薦した委員自身が講師となり、現地を案内します。

伊那市内でも、まだまだ新しいことを知ることができ、改めて歴史や文化を感じ、学習する機会となっています。



4/18

### 中坪のあゆみの会の紹介 (手良地区)

「中坪の歩み」とは、手良の中坪に毎月発行配布されている広報誌の名前です。各常会からの9名で編集会議をし、中坪の過去・現在・未来を掘り起し、取材調査活動をして発行しているそうです。平成8年より始まり30年。現在350号になろうとしています。この継続力は郷土愛に他ありません。郷土の紙芝居を作って上演したり、古老と語る会を開催したりもしているそうです。



8/29

## 老松場の丘・古墳公園 (東春近地区)

老松場古墳群は、東春近小学校、東春近保育園にほど近い小高い丘の上に存在します。全8基の古墳の内、1号墳は前方後円墳である事が判明しています。今から約10年前、当時の東春近小6年生の子どもたちの発見でした。

その後の関西大学の測量発掘調査により、古墳時代初期の前方後円墳であり、南信では最も古いものではないかと言われていています。公園内は里山の自然を活かした遊具があり、子どもから大人まで四季を通して楽しめる空間が広がっています。



8/29

## 春富水力発電所 (富県地区)

春富水力発電所は、平成29年に伝兵衛井筋を活用した発電施設として稼働を開始しました。この施設は、三峰川左岸の河岸段丘を流れる水路の高低差を利用して、水車を回すことで、毎年約65万キロワットの電気を生み出しています。発電された電気は電力会社に売電され、春富土地改良区が管理する農業用水路等の維持管理に充てられ、費用の負担軽減や地球温暖化防止に役立っています。



11/26

むねなが みやま  
常福寺と宗良親王墓「御山」、  
だいとくおうじ  
大徳王寺城址  
(長谷地区)

後醍醐天皇と足利尊氏が争う南北朝時代に、皇子宗良親王は大河原(現大鹿村)に住み、諏訪氏と共に北朝方と戦いました。常福寺には親王がこの地で命を落とし「御山」に葬られたと伝わります。また、北条家の遺児時行は諏訪氏に擁護され、この地で北朝との戦いが行われたと考えられています。



社会教育委員の皆さん2年間の任期ありがとうございました。



～歴史と文化を未来へつなぎ、誰もが心を豊かに育んでいく～

伊那市社会教育委員だより

編集・発行 伊那市教育委員会生涯学習課

〒396-8617 伊那市新田3050番地

電話：0265-78-4111（内線2723）

F A X：0265-72-4142

Eメール：sgs@inacity.jp

お問い合わせ  
などは  
こちらへ

